大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正十年十月二十八日印刷納本
大正十年十一月一日發行（毎月一回一日發行）

新しい婦人

第百〇二號
十一月號

和チャン號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察每朝、但祭日及日曜の他
院長診察月、木、金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麴町三番町三十番地（市ヶ谷見附上）
電話九段（六二二番 六三三番）

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
相模國茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日午後入院 診後應需
診察每日午后、但祭日及日曜の他
●募看護婦志願者及雜事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人生の福音

オキシヘーラー

酸素療養器

▼オキシヘーラーの顯著なる事使用僅か五分間を出ですして三乃至五m.mの血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至三十m.mの活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て驗せば其調節の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる

▼靈妙なる磁機應用の本器は斷して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强實となり全身の温暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、両便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也

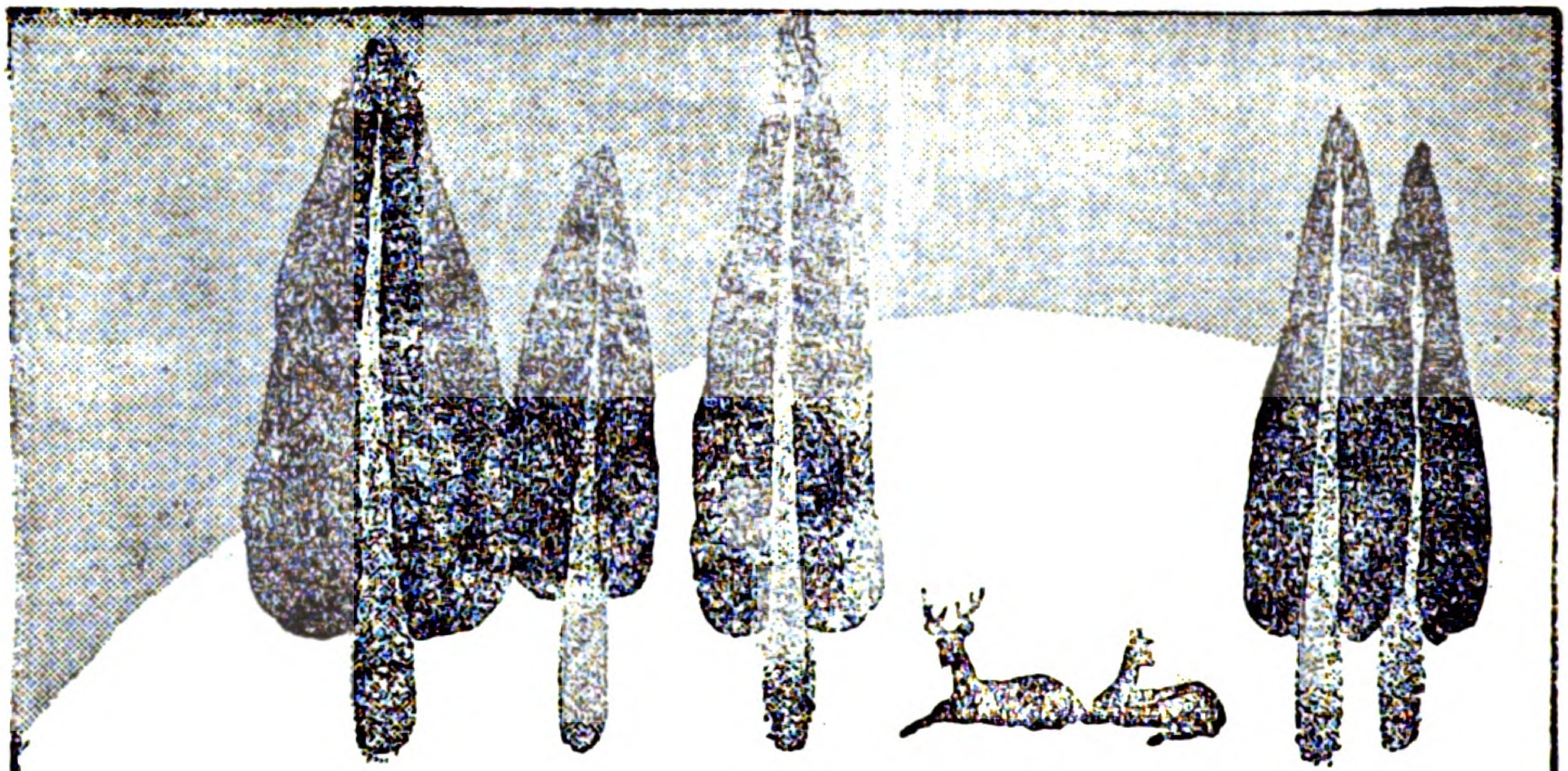
▽特色（使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要

■正價金參拾五圓■

東京市牛込區神樂町一ノ一

オキシヘーラー奬勵會

電話番町四六九八　振替東京二七一二



寒さの御用意

冬のお品は三越の品

冬の必要品は三越に一つ殘らず取揃へて御座います、三越の五分間は頭の先から足の先きまで即座に冬の支度になります三越は便利な店です

◆三越の十一月◆

▼格安反物賣出し（一日より）
▼丸帶陳列（同）
▼半衿帶揚陳列（同）
▼婦人世界主催女流日本畫展覽會（同）
▼石川縣工藝品陳列會（十一日より）
▼國民美術協會小品展覽會（十二日より）
▼龍村平藏氏織物展覽會（十五日より）
▼英國ロイヤルアカデミー繪畫展覽會（二十日より）

東京市 **三越呉服店** 駿河町

◆三越の定休日◆十一月十日◆十一月二十五日◆

胃腸藥タラコン

見よ！その由來その靈驗

村井弦齋先生發見

此タラコンは中世紀に於て既に補精益氣の妙劑延命長壽の奇藥として珍重されたのですが村井弦齋先生は更に之が胃腸に靈驗あることを發見して弘く天下に施藥し重症の胃腸患者を救はること實に二千五百有餘人弊園か故淺田宗伯先生秘法の靈劑と配伍するに及び愈愈其靈驗を發揚し實驗者の禮意を表せらるるもの無慮一萬餘に上り帝大教授及熱心なる專門家の研究に依りタラの成分の闡明せられ世界に發表せらるるに至て愈愈益益聲價を揚げ今や内は某宮家を始めまつり上下各階級に普く需用せられ外は米國及加奈陀を始め遠く海外各地に輸出せらるるに至りました此藥は第一に弛緩したる胃腸の筋を緊縮し胃腸アトニー胃擴張胃下垂等にて胃腸の伸縮し蠕動する力が衰へて消化不良を起し或は食物が胃腸に停滯へ便秘する人下痢する人何れも卓効があります。第二には胃液を整へ其分泌を順當にして胃酸過多の人、胃液の少い人酸ひ水や苦い水やゲツプの出る人空腹の時胃腸の工合惡しく或は疼痛を感ずる人特に胃潰瘍には最も靈驗があります。第三にはタラの一種の不可思議なる刺戟の力で胃腸に生じたる異生物を驅除し手術の外療法なき癌腫にさへ驚くべき効果を奏します更に此藥の配伍を變へた所のタラコン糖尿湯は糖尿病に靈驗を顯はし第四特方タラコン湯は醫師も治療の途なしとする腸結核の下痢發熱盗汗を治して大に健康を增進し驚嘆すべき成績を現はします人生幸福の源泉は健康で其健康の基礎を爲すものは實に胃腸です弊園は此幸福の根源たる胃腸の藥として今日此タラコン以上の靈藥は決して他にないことを斷言致します藥價散藥煎藥各五十錢一圓二十錢二圓五十錢五圓十圓送料十二錢海外四十五錢第五特方タラコン湯糖尿湯盲腸湯一圓五十錢三圓六圓十二圓送料同前

胃腸新藥 タラコン精 タラコンの有効成分を稠厚エキスに製したるものなり臨床醫家の御試用を乞ふ ◎藥價八十錢一圓五十錢三圓送料同前

東京小石川下富坂町廿 **無量壽藥園** （電話小石川二九五六番 振替東京二〇〇二一番）

畏くも御料に召させ給ふ御園白粉及御園化粧品は最新の科學と容易に得難き經驗に依り、原料と芳香を精選し衛生と美容の目的に適ふ配合を以て醸製したる眞に本邦唯一の理想的優良化粧品なり。
御料
御園白粉
みそのおしろい
御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば衛生上有效無害にして然もノリよくノビよく濃淡自在に美しく着き、決て斑を生せず、化粧榮の美しく且高品なる事他に其比を見ざる模範品なり。
ねり製 御園白粉
水白粉 御園の月
淡化粧用 御園水白粉
粉白粉 御園の花
打白粉 御園撫子
懐中用 御園紙白粉
濃厚化粧水 御園四季の花
白色化粧水 御園白露
化粧水 御園の露
濃化粧用白粉下 御園の蕾
洋風化粧料 御園クレーム
花精 御園香精
化粧香水 御園の橘
頭髪香油 御園香油
特製齒磨 御園齒磨
日焼防止化粧料 御園ルチゲン
本舗伊東胡蝶園
發賣元丸見屋商店

何故美しい

世界各國の代表的美人の生々とした美しさは、何故か……？

婦人靈藥 **中將湯**

を服用して、婦人病を防ぎ、常に肌の健康を保つてゐるから。

主効

こしけ、月經不順
血の道 產前產後
子宮病 ヒステリイ
内膜炎 つはり

本舗
東京市日本橋區通四丁目
津村順天堂本店
大阪市堺筋大寶寺町
津村順天堂支店

新眞婦人

和チヤン號

（兄　西川滿描）

卷頭語

亡兄の爲めの哀悼紀念の出版物は別に致すべきだと思ひましたが、又考へて見ますると兄を亡くしたことを中心に、親や兄弟姉妹や親近者の書いた感想文は、一般讀者諸君に讀んで頂くだけの價値もあると思はれるので、本誌の十一月號を和チヤン號として、御會葬下されし方々、御弔詞、御香典など玉はりし方々へ、御送りすると共に、常の如く一般讀者の方々へも御送り致すことにしました。

其の爲め大分頂いた原稿がありますが、凡てソレは次號へ廻はすことに致しました。御寄稿下さいました方々に、御許容を願つて置きます。

和チャンは

大正三年十二月二日午前八時、本郷區林町二〇六番で生れ、大正十年九月十九日午前十時に、本郷區動坂町三二七番地で亡くなりました。此の世に在ること六年八ケ月二十一日でした。而して學校へ行つたのは本年の四月からで、四月に二十日、五月に二十四日、六月に二十三日、七月は二日行つたきりで、合計四十九日でした。

ソレでも小學校の一年生の一學期丈けは濟ませ、左の如き成績を遺しました。

修身(甲)、讀方(甲)、算術(甲)、圖畫(乙)、唱歌(甲)、體操(乙)、手工 乙)、操行(甲)

去る四月二十二日の身體檢査の時

身長　三尺六寸

體重　四貫六〇〇匁

でした。

子供と菓子

子供に一切菓子を食べさせてはならぬとは申ません。併しお土産にお菓子を貰つた場合や、來客にお菓子を出した場合、思はず子供に、ソウ食べては悪いとは思ひながらも、多食されて仕舞ひます。其の結果、子供の胃腸をそこねることは、珍らしいことではありません。

私共は今回、一人の子供を亡くして、一層痛切に其の事を感じました。ソレで私共では、來客にお菓子を出すことと、お菓子を贈答品として使用することを廢止しようと決心しました。而して皆様にも此の事をおすゝめしたいと存じます。

私共は、亡兒の紀念事業として、今後、毎年一回、此の事に關する特別の刷物を拵へて、宣傳したいと思ふて居ます。

亡兒の紀念事業

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供を亡ふて得た感じ

西川光二郎

子供を亡ふて、初めて世に兒を亡ふた人の多きを知つた。或は一人、或は二人、或は三人、甚しきは四人の子供を亡くした人あることを知つた。而して此等子供を亡くした經驗のある人達は、心より私共今回の不幸に同情してくれた。私は子供を亡つて澤山の新しい心の友達を得た氣がした。和ちやんも彼の世で早世した子供達と遊んで居よう 彼の世も淋しくは無いらしい。

□

和ちやんの犬齒は二本とも甚だ尖つて居た。彼は虎歳で、而かも其の犬齒は牙の如く尖つて居たので、私は彼を猛獸と綽名した。其の氣象も亦全く猛獸の如く、和平なる時には、家中での一番よい人であるが、一度あばれ出すと、家中でのあばれものであつた。

ソレデ私は毛頭も彼が斯く早世しようとは思はなかつたが、かねてアー云ふ氣象だからよく行けばよいが、惡く行くと、どんなものになるか知れぬと私かに心配をし居たのである。

彼に限らず、私共の子供は、六人が六人とも普通以上に壯健らしいので、之れまで私の頭に子供が死ぬと云ふ樣な懸念は少しもなかつた。さればタマに病氣する樣なことがあつても『何にぢきに治る』と、何時も樂觀して居たのである。和ちやんは可愛そうに此の油斷の犧牲となつたのであつた。今後はコウ云ふ油斷のない樣に心掛けて、和ちやんの犧牲を無用ならしめぬつもりである。殘る五人が健かに成長せば之れ和ちやんの御蔭である。

□

和ちやんが、亡くなつてから、線香の香煙が家に絶へないが、私は此の香を嗅ぎつゝ、昔自分が父母の家に居た時分、よく線香の香がしたことを思出し、何んと云

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふとなしに、和ちゃんが亡くなつてから、自分の家が家らしくなつたと云ふ氣がした。

新しい家の土臺は、誰か一人死んで築かるゝものと知つた。

和ちゃんは、私共の家の土臺となつてくれたのである。

口

結婚で一段、人間らしくなり、子もつて更に一段人間らしくなつた樣な氣がしたが、今度子供を一人亡ふて、幽界との關係がついた氣がした。

死後の生活の有無なぞはモウ問題でなくなつた。有るに決定して仕舞つた。

和ちゃんは、私共に死後の生活を知らせてくれた。

健康の犧牲

西川文子

敗軍の將は兵を語らずとか申します、子供を一人でも亡くした今日の私は、もう看護について語る資格がない樣です。併し事實は却つて其反對で健康でばかりゐた時にこそ注意深いつもりでもうつかりしてゐたのです。物を遺失した時、後から考へて見ていつどうして失くしたか分らないと同樣、どうして子供を亡くしたか寢耳に水、寢込みに泥坊に入られた樣なほんとうに取返しのつかぬ殘念な事をしたと考へれば、考へるほどぼつとして了ふのです。それが決して急病でも災難でもなく、床についてからも二ケ月餘もゐて呉れましたし、今から考へれば今年になつてからはその兆しを現はして、永い間注意を促がしつゝゐて呉れたのに、經驗のない事とて、大病だとは思つてゐてもさうまでつきつめて考へなかつたのです。こんな事なら一層地震とか電車にしかれた方が思ひ切りがいゝと云ふ愚痴が出る位です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十七年間無事に健康揃であつたので醫師に就ても勝手が分らず和ちやんはつまり健康の犠牲になつたのです和ちやんは土運動を始めた最初の子で裸足できたへ上げた丈夫な子で自然兒と呼んでゐました。又強いので猛獸とも云ひました。十二月生れの三つになつたばかりで二階へ上つたり流し下へ水をのみに行つたりしたので、恐ろしくて鬼子だと云つてた程で、今年迄は至つて丈夫な子でした。

精神的にも強者

和ちやんは體ばかりでなく精神も強く獨立心のある子でした。重患になつてからも『母ちやん母アちやん』と呼びつゞけてゐながら、誰れにでも『向ふへいつとれ、下へいつとれ』と奴鳴りました。母さんにさへ用事さへすめば『向ふへいつとれ、下へいつとれ』と云ひました。健康體のものにあわれまれるのがいやだつたのです。從つて哀れぽつくめそ〳〵泣くと云ふ樣な事は皆目ありませんでした『母さん寢さして、抱つこして負んぶしてこゝへ入つて』と一度云つたのと『母さんこゝへ來て居て』と一二度云つたきりで他は一人で寢てゐました。で私は赤ん坊を下で寢さしてゐましたのでしつ切りなしに『母ちやん〳〵』と呼びつゞけてゐました。今でも他家から『母ちやん』と云ふ聲が洩れてくるとふと『和ちやんか』と思はず立たうとします。

虎歳で、性格の強い和ちやんは一人で家族中と爭はねばならぬのが可愛相だと思つて、思ひ切り可愛がりたいと思つても、面と向ふとそんな氣分がどこへか行つて了ふほど強い性格の兒でした。人に不憫がられると云ふ事の大嫌ひな、弱者らしい分子の少しもない子でした。で亡くなつた今日も私は可愛相だとか惜しいとか云ふ心地以外すまぬ事をした、あんな強い子が死ぬべくして死んだのではない、死なせなくもよいものを死なしたと云ふ悔と責任感とに責められてすまぬ〳〵と思ひます。只何となくかなしくて泣いてばかりゐたい氣分です。あの強い和ちやんがゐたら決してかくも泣かせはしますまいが、弱い私は涙ばかり先きに立つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て何をかく氣もしません。若しも他の子供であつたら病中でも弱い私は泣いてばかりてゐて看護する事も出來なかつたでしやうが、和ちやんに限つてそんな事もなく喜んで世話をする事の出來ましたのはせめてもの思ひやりです。

今から思ふと二月頃から青い顏をして居りましたが、三四月になつてからちよい〳〵お腹がいたいと云つて醫師につきました。只ちよいと腹が惡いのだと醫師が申て居りました。學校へ上る前にも寢てゐましたが、初めの事ですから喜んで上りました。僕の學校へ行くのはもう幾日だ〳〵と五六十日も前から指折りかぞへてゐました、學校へ上つてからも時折り休みましたが七月でさへ二日登校してゐます。これより以前にも朝お腹が痛ひと云ふので休ませやうと思つて學校へ行くと、休み癖がつくと惡いから一寸でも來させて下さいと云はれ一寸した事と思ひ又しても登校させてゐました、其の間方々で診察して貰つても容易に分らず、何でもないとか、或は腸が惡いとか云はれ、七月十五日に腹膜炎と決定され、すつかり寢つき外出しなくなつたのはそれ以後です。十五日から月末迄父の下阪中にどうかして治さうと思ひ、日夜心をくだき食物にも非常に注意したのでした。二十二日に夏休みになつた日姉が彼の通信簿と夏休み中の日記を頂いて歸つたのを喜んで「僕休んでゐても甲が多かつたね、お父さん驚くかしらん」と云つてお父さんいつ歸ると毎日父の歸りを待ち暮しました。カバンを持ち出しては日記をつけるのを止めても聞かず寢床の中へ持ち込んではかきました。曇り日が多く晴天とも雨天ともまだ分らぬのに朝から「こんなのは何とかくのよ」と云つてちれぢれしました。せつかちですつと夏休み中のを書きつけました。この十五日間は私も少しも外出もせず看護にのみ腐心し、彼も毎日夜の明るのを待ち兼ねて「本買つて來て」と繪雜誌を買ひ、食事を樂しみ尤もうれし相な面白い期間であつた。

それほどに思はれないのに、主治醫がむつかしい樣に云はるゝので、見込みがないと思ふ醫師にかかつてゐ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ては仕方がないと思ひ、かねて知つてゐる醫師に聞くと八才位の子供の腹膜炎はよく治る、二三日も流動物にて安靜にしてゐればと云はるゝので神にでもめぐりあつた心地してその醫師についた、よく診察して一週間もたてばよほど樂になると云はれ只管治して貰ふ樣に懇願して云はるゝまゝに流動物にした。非常な旺盛な食慾を制しつゝ、成る丈け内外ともに刺戟を與へなければいゝと云はるゝまゝに、今から思ふと可愛相なほど規則づめにした。同じ流動物でももつと幾度にも與へればよかつたと思ひ出しても涙の種となる思出が多くあります。八月中旬に胃腸專門醫に診察して貰つた時こんなに衰弱してゐてはとても助からない、それも長くはあるまいと云はれたが、その時は折あしく大便がたまつてゐた爲めで、すぐ大變な便通の後樂になり日增しによくなり、あれは誤診であつた。和ちやんは助かつた　命拾ひしたと只管喜んだ事でした。其の醫師もあまり言ひ過ぎたと思はれたものか翌日もし助かるとすれば抵抗養生をしてみる事です、二時間も煮たかゆにさしみ始め種々有形滋養を與へる事だ、さすれば萬に一つは助かると申されました。然かし病人はずん／＼元氣づいて來て其醫師の駄目だと云はれたのが誤診である事が分り、主治醫に大した事がないと云はれたので、食事についても全然信じ切る事が出來ず、前の醫師に相談すると、あんな病人に何か食べさせれば死なして了ふ、病勢さへ去れば滋養は流動物で充分取れると云はれた。處が其醫師が少し遠いのと忙がしいのとで隔日とか二日おきとかに一定の日に診察に來られず一々電話をかけ迎へに行かなければならぬので、又別に小兒科でいゝと云はるゝ醫師を迎へてみました。處が其の醫師も極樂觀的で重病には重病だが十中八九迄は治るとて轉地をすゝめ、食物についても大膽に小膽に注意深く細心にやはり粥やいろ／＼のものをすゝめられた。其の說明を聞いて見れば尤であり尙吉岡先生等に伺つても同說で、大學でも腹膜炎は急性か或は慢性でも暫らくは流動食にするが、長くなれば衰弱する恐れある處から抵抗力のなくならぬ樣に有

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

形食を與へる方針とき〻、それもさうだあんなに欲しがるものをと思ひ、其の說に從ふ事とした。それには流動食說の醫につきながら反對の食事をとる事も出來ずかた〳〵後の小兒科醫が大變よささうなので其の醫師につく事としました。其の後平穩な日が十數日續きました。八月中は熱も高く呼吸困難に陷つて度々今晚は危險だと思はせられる樣な事があつても翌日はけろつと治つたり元氣づいたりしたのが九月に入つて熱もずつと下がり平穩でありながら全體の調子では衰弱して行く樣に思はれた。醫師は病氣は熱が先づとれ、後次第〳〵に快復するのだから熱のとれたのはい〻事だと申しても私は何だかさうは思はれず衰ろへて熱が下がつたとしか思はれなかつた。いくら寢てゐるやうに云つても起き直つて玩具や本を見て仕方のなかつたものが次第に大人しく寢る樣になつた。醫師はいくら氣質とは云ひながら前のやうなのは變調子でこれが普通だと云ひ寢てゐる中に快復すると申しました。其の間にもいつとなく知れて方々から見舞に玩具や本を送つて頂いたのを喜んで見てゐたり、水寫眞をしたり、あれやこれやと食物を樂しんだりしてゐました。九月になつて姉さん達が學校へ行く樣になつてから、『今度治つたら遠足に行く時水筒買つてね、先に夏みかんなんか持つて行つてツマラなかつた、皮がむけなかつたんだもの、久保田先生がかげんの惡い人は遠足に來ちやいけないつておつしやつた、小使さんに厄介をかけるからつて』と云つて繰返し云つてにこつとしました。彼が病中話しらしい話しをしたのはこれ丈け位のものでした。どこが痛いと云ふでもなし、別に苦痛はないらしいのでしたが、それでも氣が重くて別に話しをするでもなく、日頃好きだつた話を聞かうともしなかつたものです。

九月十六日は彼の何よりも好きな氏神の祭禮でした、ワツショ〳〵が門に來た時、彼ははしやいでニコ〳〵しながら祐さん（友達の名）と珍らしく床の中から大聲に呼んでゐた。お祭で玩具買つて來てと云つてみこしをかつて來て貰ひましたがこれはそれほど面白がり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

もせず、遊ばなかつた樣でした。
十日に私が外から歸つて見るとすや／＼と寢てゐるので、あよい鹽梅だと思つてゐた　すると醫師が來て診察しやうとするといやがるので衣を解いて見るとお腹が大變張つてゐたので驚いた。醫師はすぐ灌腸した。どうしてこんなにとたゞしてみると、晝少し食べさせ過ぎたと云ふ事が分つた。あまり迫るので九時に少しやつて行きますから十二時迄よろしいと云ひ置いたのに、十一時半に、しかも二杯か三杯を出てはならなかつたのに四杯も與へたと云ふのです。一大失敗であつた。然かし今日一日のではない數日間ずん／＼調子がよかつた爲めに少しづゝ油斷して食べさせすぎたのとたまり過ぎてゐたのであつた。殘念でたまらない事をした。二三日前には二階から下りて來たりした程よくなつてゐたのに、然かしこれまでこんな事があつても自然に便通があつてづん／＼よくなるのだつたのに、灌腸もたしかに惡かつた。その爲めに異狀に通じがつき過ぎて、今度は反對にあり過ぎる樣になつた。その上藥にも加減されたと見えその後通じがあり過ぎるので心配して尋ねると、こんな病人に通じがなくては危險だからある方はいゝとばかり云はれたがどうも不安でならなかつた。遂に灌腸後立たなくなつた。
十七日の夜ふとん取つてと云ひ出したので、胸をつかれる樣にはつと思つた。それは昔しからふとんの重くなる樣では駄目だと聞いてゐたからである。十七日は夜半迄ふとん着せて取つてと叫んでよく眠り、十八日も平安であつた。
十八日の夜は夜通し『母ちやんふとん着せて、母ちやんふとん取つて、母ちやんうんこ、毛布とつて、赤いふとん着ない、二枚もふとん着ない』と云ひつゞけました。ふとんは天井に釣してあるから、又臺をしてあるから安心して寢る樣にと云つても、重い樣な氣がすると見えて取りのけなければ承知しないのでした。いゝからもうねんねなさいといつても一睡もせず、その夜に限つて油汗がじり／＼と出るので一々拭きながら苦しいの、と問ふと無言のまゝうなづくのみでした。そ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れでもうなる程でもなく、元氣な聲で『母ちやんうんこ、母ちやんふとん取つて、母ちやん水飴、お湯、お湯と玄米湯を切りに求めました。翌日はそのつかれでよく寢て快復する事とのみ思つてゐました。

夜明け方にぢれつたがつて『起きる』と云つて無理に起き上らうとしました。血管が弱つてゐたか、左の腕から血がにじみ出ました。汗で着物が氣味が惡いのでソッと靜かに父と二人して着かへさせてやつて、さあ氣持がよくなつたでしやう、ようく寢んねなさい、今日寢れば又快復するからと云つて、玄米ソップをづくつたりしてゐますと、父が『母あちやん／＼と云ふからいつてやつてゐるといい淋しいのだらう』と申しますから母ちやんは側にゐるから安心して寢なさいと枕許に座つてゐると、兩手を出してむづ／＼し出しました。其手がぶく／＼つとふくれて來ました、お大變むくんで來たと思つてすぐ父を呼んで醫師に電話して貰つた。手をぶる／＼振はせながら合掌するので思はず手を合せて御念佛なさい、極樂樣へ行くんですよ南無阿彌陀佛々々／＼々々々／＼と稱名しながら和ちやん／＼と呼ぶと『何あに母ちやん母ちやん何あに／＼』とまだ聲だけは殘りあると云はぬばかりにいゝ高い聲で連呼しつゝ應へつゝそのまゝになりました。まぶたを押へ眼を閉ぢてやりました。九時半に手がむくみ出してから二十分とはたちませんでした。何の苦痛も惱みもなく眞に眠むるが如く逝きました。何と云ふあつけないものでしやう小供の死は、夢の樣な本當の悲しい一幕でした。

後になつて考へてみると、九月上旬に瘠せた彼の顏が下ぶくれに可愛らしくほゝがふくらんで來ました。太つたのではなくむくんだのでしやうと心配して醫師に聞いた時、顏は下にして寢てゐるとむくみます、いけないのは手や足のむくんで來るのですと云はれました。考へてみると二三日前から足を高くつんだふとんの上へ上げる度にまあ確かりした足だと思ひ／＼しました。ずつと以前拭ひてやる時足の指も瘠せ細つてゐたのに、それがでつぷりと足の甲の太つてゐるのを何

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の氣なしにいゝ足だと思ひ、すねの細いのばかり見てむくまないからいゝと安心してゐたのも愚でした。二三日前から足の甲のむくんでゐたのを思ふと、もう既に死期は迫つてゐたのでしたのにまさか〳〵と思ひ、近處の産後の腹膜炎でさへ一年も一年有餘もかゝつて治つたと云はれる夫人の話を毎日きいて來ては、和ちやんも治るだらう〳〵と空頼みしてゐたのも、思へば愚でした。

亡くなつてからこそ『亡くならうとて淋しい子でしたね』と云つて下さる方もありますが、元來は和ちやんは快活な愉快な子でした。それは本誌に色々和ちやんの頁として四五才の頃の言行を錄してあるのでも分つてゐます。(二十二二十三頁參照) 又和ちやんは歌好きの子で、如何な難づかしい歌でも歌の形式を備へてさへゐればすぐ覺えて調子よく歌ひました。啞の樣な私の子にしては何よりも珍らしいうれしい感じで和ちやんの歌聲にはいつも聞きほれてゐました。その中でも今も哀れ深く思ひ出されるのは

『雁が渡る雁がわたるないて渡る、なくは嘆きか悲しみか、竿になりかぎになりないて渡る……』

と云ふのが好きでよく歌ひました。又、

『すゞめ〳〵今日も又暗い道を唯一人林の奥の竹藪の淋しいお家へ歸るのか。いゝえ皆さんあそこには父さま母さままつてゐて樂しいお家がありまする』

と歌つた聲が耳の底にこびりついてゐて聽えるのです其調子づいた口をとがらした可愛らしい口許が目について離れません。

和ちやんは本の好きな子で三つ位の頃から、留守をさしておく時には乾度中西やのお伽噺を買つて來てやりましたので皆暗誦してゐました。病中も朝暗がりからゑ雑誌を一冊づゝ買はせて讀んでゐました。死の前日も松坂屋から買つて來たのを喜んで讀んで貰つて聞いてゐました。

和ちやんは極端に強い性格の子ではあつたが又極端にやさしい卒直な正直な子でした。歌の上手に引かへて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ゑが大變下手でしたので兄ちやんなどは三つの時うち中を電車にするほどよくかいたのにと叱つては敎へました。字を板で敎へた時でも數字を敎へた時でも、平素の肝癪に似ずどんなに叱つても腹立てても決しておこりもあきもしませんでした。それには私はいたく感じていつもすまなかつたと心中で平あやまりにあやまるのが常でした。その甲斐あつて字も數字もよく出來る樣になり下手なゑでさへ上達しました。學校のノートも誰れよりも奇麗にかき、學校道具を大切にし、少しいがんでゐても承知しないきちやうめんなやかましい子でした。

和ちやんはやんちやでよく他家の子を泣かせた事もありましたが、自分から決して喧嘩はしませんでした。人の好い和ちやんは必らず意地惡の子に最後のかんしやくを起すのでした。

書けば書く程、思出が增へて限りがありませんから、コレ位にして置きます。左は一度本誌にのせたものですが、和ちやんの紀念になる文字ですから、本號に再錄して置きます。

病兒

「病人は大嫌ひ」
など云つてゐられる時もいゝ
詩にうたつてゐる時もいゝ
本當に生死の間にたつとき
そこには只一生懸命
があるばかりだ
はりつめた心、神信心
それきりだ。

むかふへ引く魔の力か
こちらへ引とめる親心か
引ぱり合ひの綱つびき
醫師にすてられても
誰が何と云つても
母親ばかりは最後まで
決して死なせないと思ふ。
これ迄よその親達が
易々と子を亡くして
ゐるやうに思つたのは
大きな誤りだつた。
どんなに引とめても
其甲斐がある
とばかりは限らない
どこに一生懸命
引とめない親があらう？
亡くするまでの心づかひ
それこそ本當に
同情しなければならぬ。

八月十五日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人生を愛したい

火事や怪我や多くの災難が
隣まで來てやつと我家は
のがれたと云ふ事がよくある
丁度その樣に私も屹度
私丈け父母の死が
のがれられると
小さい時安心してゐた。

遂に死の手は私の
父も母もかくして了つた
私の子供等が大人になるのも
事實なら私達も
父母の道をたどるんだらう

死！
千差萬別の人生に
死　唯こればかりは
萬人一樣ではないか
しかもどんなに長くても
もう五六十年とはいへない
或はもつと〳〵短かい

さう思ふと人生を愛したい
隣人も子供等も我身も
もつと人生をつきつめて
考へたい出來る丈け
有意義に。
凡てを抱擁したい
とは思ひながら
自分さへ愛されない
子供さへ愛しきれない
何と云う情ない事だらう

やさし過ぎるのはどれ丈け
やさし過ぎてもいゝ
私は死後の事ばかり考へて
暮して見たいと思ふ
人の心に深く喰ひ入る
事なしに人世を過ごすのは
本當に淋しい悲しい事だ。

母の苦界

小供になりない
でなければ子持たぬ女に
小供に病まれると云ふ事は
えぐられるほどつらい
これは母と云ふものには
のがれられぬ苦界だ。

七月十六日

弱り行く我兒

文　子

今思ふと
少し前でさへもつと丈夫だつた
それだのに
一ケ月も二ケ月も前でさへ
その時はその時で
今日にもはかなくなりは
すまいかとあやぶんでゐた。

さうかと云つて
どん底に見える今でさへ
今が病い頂上で
薄紙をはぐやうと云ふやうに
快復するんぢやあるまいか
と望みを失はない。
『せん方つくれど望みを失はず』
おそらく最後まで
望みをもつのが人情だらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さは云へ[illegible]
駄目なんぢやあるまいか
ぢり〱弱つて行くのを見ては
さう思はないわけには行かぬ。
何が何でも助けないでおかぬ
乾旋乾旋
母の命を縮めても此の子の
壽命を與へて下さい
と神様にも祈願を込めてゐる
さうしてゐながら疑つてはすまない
疑ふまい乾旋
受納らるゝに相違ない。

「母さん牛乳やさん牛乳
持つて來たら持つて來てれ」
夜通しかうさけんでゐたのも
隨分長いものだつた
一打撃の後
「母さん牛乳來たらもつて來てれ」
やはり例のいゝ
透る聲で叫んでゐた。
「聲がかれた、細つた」
と云ふけれど相變らず
叔鳴るぢやないか
と父が云ひ〱した。

どんなに惡い時でも、食慾を制しなければならなかつた。
今は其得意の「お粥もつて來て」さへも
「牛乳もつて來てれ」
も聞かれなくなつた。

牛乳？　いやだ
お粥さんは？　食べない
これで快復するだらうか
本當に心もとない
破り裂けるやうにつらひ
しかし生ある限りは
悲觀しない、これが人情だらうか。
親の慾目か神ならぬ身には
ちつとも分らない
どこまで弱つても
蘇生つてくれさへすれば
病いが重い丈け
うれしさも大きい
どうか治つてくれ
治して下さい
いゝえ治さなければおかない
さう思へばこそ悲觀しないのだ。

もし本當に取返しの
つかぬ事になつたらどうしやう
さう思ふ時涙は瀧のやうに下る。

それは繪にかいた
仙人のやうに、骸骨のやうに
痩せ細つてはゐる。
けれども元氣なんだもの
確かりしてゐるんだもの

低氣壓のやうに
大患が過ぎさつては
本買つて、おもちや買つて
お金の箱とつて――
十錢二十錢一錢二錢
チヤラ〱同じ事を
繰返してゐる。
どうぞいつまでもつゞけてくれ

（これがうれしい思川となる様にと念じつゝ病兒の枕邊にて）

九月十六日夜

佃村はつ子

鳥渡る日に高々と仰ぐ哉
つき穂なく唯夜寒
言ふ秋かなし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

和チヤンの早世を悼みて

吉田庄七

なくさめの言葉もしらす露の身のとはのいのちに入るとおもへと

たらちねの親のこゝろのかなしさよ子ゆゑの闇に血にむせふなり

とことはの光の中に君ますとおもへとつきぬわが涙かな

燔祭にわか子さゝけし古の人にもまさるけふのかなしさ

あつかりて子とよひ親と名のりけんえにしかしこみ御許にかへさん

天の子となりにし吾子はおもかけに小さき羽さへはや生えてけり

み使の中にまじりて吾か子は白くかゝやけり花の御園に

みひかりの君のみもとに生れてはたらちねのため祈りてあるも

子となりてかりに現はれかりに消えとはのいのちに導くものか

子となりて親のこゝろの手引する子こそは神の使なるらん

天にますみおや仰きて泣きまろふこのこゝろこそ吾子のたまもの

泣きなけく涙の露にうるほひてひらきし花そ君にさゝけん

ほんとに何と申上げやうもございません。歌にはならぬ歌ではありますけれど、和チヤンを悼む餘りに胸に浮びましたまゝ、のこころもちをこゝに記さして頂きました。

秋季皇靈祭の翌る日

西川和様の御死去を悼みて

梅田あき

みめすがた美しかりし君の靈み親はなれて今はいづこに

君亡しと云へど思へぬ我なれやあゝ愛らしきみ姿ぞ見ゆ

お土産と我背をたゝき走り行く君のほゝゑみ忘れか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ねつも

和君の逝去を悼みて親君におくる

高島平三郎

さなきたに秋はわひしき時なるにわ子うしなへる君
か心いかに

棺側に立ちて

文子

和ちゃんが死んで了つた
と云つても仁ちゃんは
和ちゃん寝てる今に起きる
と云つてゐた。
仁ちゃんばかりではない
どうかすると起る様な
氣がしてならなかつた。
和ちゃんは今朝
母ちゃん〳〵と呼びつゝ
何あに〳〵と應へつゝ

遂に逝いて了つた。
何と云ふ遠い隔りだらう？
今は白蠟のやうに彫刻のやうに
觀世音とも地藏尊とも
神とも佛とも
命名しやうもない程
崇高に平安に靜かに眠つてゐる。

棺側に立てる母は
和ちゃん許して下さい
大人にもやうしないで
永久に死なして了つた
可愛相にすまない
申譯がない許してくれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

肺腑をえぐる様な聲を
しぼり〳〵ひた詫びに詫びた
罪もとせがもない無邪氣な
和ちやんは遂に逝つて了つた。
悔、惱、嘆、悲、

母は終生此等の忘念と
闘はねばならぬ
和ちやんよ淋しからうが
母の嘆きに免じて許してくれ
さらば！ 母の靈に守られて行け
おゝ さらば

和ちやんの母様へ

村瀬みち

『仕方なしに何か出して見ますもの〻、和ちやんの事ばかりが思ひつゞけられて……』といふ貴女様の御書を前にして私はつく〴〵この秋を味ひました。松の音律と波の叫びとを同時に聴聞てゐる私の庭のコスモスは、今伸びるだけのび張るだけ張つて、ちらほら咲いたなよ〳〵しい花を戴せたまゝゆさ〳〵搖れてゐます不透明な重々しい空と、鉛色の海とを背景にしたこの家からは、秋更けた一條の漁村と柑色に稔つた静かな田が瞰下されるばかりです。たゞ稲と稲との間を、または稲田と漁師町との間を玩具の様な汽車が徂徠するのと、極稀に小さい人間が傘を傾けてこの畫面に入るばかりで厶います。

『和ちやんの御誕生を承知したのも矢張りこのS雑誌であつた』とお手紙から黄色い田甫へ眼を移した私は獨語ちました。然し和ちやんにお會ひしたのはそれから十個月後で、私の生活が殆ど窮つてゐた時でした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名ばかりの夫妻關係を有つてゐた私達は、相會へば亂み、思へば悲しむあはれな狀態にあつた時でした。そこへ貴女が嫣然和ちやんを抱こして入らしたのです。勿論初對面といふではなかつたけれども、本當に會ひたい人に會つた欣びを、貴女は私に御與へ下さいました。文字通りお人好の愚母だつた私は、同時に人間といふものを非常に畏怖して居りました。それ故、神に近い赤ちやんを什麼に愛しんだ事でせう。そして赤ちやんの母樣である貴女樣をどれ程懷みお力にした事でせう。女房は臺所の器物だと放言してゐる暴君の作へた家庭といふものに縛せられて、外出さへ容易に宥されない私はたゞ一刻も貴女を引留めたいと腐心するのでした。偲へば果敢ない身の上でした。
一泊の後お歸りにならうとする貴女を、強いて鹿野山へ御案内したのでしたね。案內といへば顏の赧くなる位、無智無謀な企でしたね……ステーションへ行つて訊けば判るでせう、そういつて俥に乘りましたわね。貴女が和ちやんを、私がNを、そして女中におしめを持たせた切りで、ろくに方角も判らぬのに汽車に乘込みましたね。柿の多い地方であつた事と生栗を食べた事と、女中が柿の一つを捥ぎかけてコーラと我鳴られた恐ろしさの外に、其夜和ちやんに風をひかせた事とは、いつまでも忘られぬ追憶です。私の和ちやんにした所爲は全く無情でした。小さい和ちやんにした私の愛なき行爲は最早御詫のしやうがないやうです。たゞ其時私のNも生栗の爲にお腹を損じた事は幾分私をくつろげます。
それから間もなく座布團生活から放たれた私は、毎夏避暑などに出掛けては伸びつゝある和ちやんに親しくなつてゆきました。然し今年に限つて私は和ちやんのお家の御厄介になる事ができませんでした。といふのは六月中旬にK山へ登つた其當時三歲であつた私のNが左足を折つたのでした。私の頭腦はレントゲンに寫されたNの片足で一ぱいになつてゐた時でした。和ちやんのお惡くなりかけたのも、其頃からであつたでせう。明けても暮れてもNNと熱病者のやうに、彼の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事しか考へられない時だつたので、和ちやんの記事を拝見し乍らも猶よい小母さんにもなれなくて……思へば御恥しい情ない事で厶いました。

それにも係らず其頃頂いた貴女のお手紙は何といふ同情に充ちた、なつかしいものであつたでせう。十幾年か頂いたものゝ中でも、あれだけは全く別な、本當に特別な、デリカリーな貴女の半面も拝見したのでした。今から想ふと和ちやんが、ひどくむづかられて看護の爲難くかつた折だつたかと推察いたされます。饑餓を味つて始めて人間味を帯びる様に（私なぞが恁麽事いふ不遜を御許し下さいませ）愛兒の長病ひにかしづきつゝあつた、其時の貴女様のお手紙は、いつもの力づよい線でもなければ、極要領をえた理知的なものでもなく、幽深細微な、丁度この畑一面に生えてゐるコスモスの葉のやうなものでした。全く眞實の籠つた名文章だつたと私はなつかしんで居ります。

八月中旬にNのギブスが除れたので、廿八日に御伺ひしたのが私には最後でした。全然愛が無かつたとは決して思ひませんが、でも一夜でも御手代りしたいと家ではいつて居たのに、愛と餘裕のない爲に、私はとう〳〵よい小母さんになれずに終ひました――。

昨日は二七日に相當するので、漸く咲き出たコスモスを瓶に入れて、和ちやんを忍びました。小さい電氣に映じた淡桃色の美事な花は淋しう厶います。

豆粒程の蕾を、無數につけた百本ばかりのコスモス畑は、今年の最後を飾つて呉れますけれど、貴女様のお心持の如くに、私もやはり娯しみません。一本や二本大人が切つて手向けるよりも、和ちやんをこの畑へ入れてあげたら、そしてあの海のほとりへ呼んであげるのだつたのに……。

和ちやんに代つて、花と海とを見に入らして下さいませ。

（十月三日夕）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

別の言葉

尼子松代

此度御社に讀書研究會の出來ました事を大變よろこんでゐます。

先き頃讀みましたシエ●アール●ミラ著に深く感じました事を新らたによびおこしました。ちようど和ちやんに涼しくなつたらと申した言葉も今はもうたのみがひもなう往つてしまひました、その事によつても一層感じられましたので愛姉に送ります。

『さようなら』と短く云つた此の一言で、數年間或るひは永久に別れなければならぬかも知れない此の事を思ふ時に私共は、別れる時は常に愛の心をたゝへて別れたいと思ふ。私共は決して腹を立てたまゝで、又人を惡るく思つたり喧嘩をしたり、口論をしたりしてぷり〱怒つたまゝで別れてはならない。私共は『さようなら』と云ふ別れの言葉を冷淡に粗略に云つてはならない。常に愛に滿ちた心と溫厚な感情とを以つて云ふべきである。

假りに外に出た人が、死人になつて家に連れて來られたとする、或は外に出て居た間に家に殘されて居た者が死んだとする――

所で若し其の別れる時に荒い言葉で叱つたとか苦い顏をしたとか、腹を立てて別れたとかしたならば、其の生き殘されたものが、花に飾られた棺の前に立つて其の人と別れる時の最後の言葉や、有樣を思ひ出した時の悲しみは何うであらう――其の時は最早如何程美しい花を以つて棺を飾つても、門口で冷淡に別れた罪を償ふ事は出來ない、又別れた時の惡感情を拭ひ去る事は出來ないのである。

私共は家庭の人と別れる時は、それが又どんな短い別れであつても、その言葉が最後の言葉になつてもよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い様に、又さうであるかも知れないから、充分快い
充分情のこもつた別れであり『さようなら』であらせ
度いと思ふ。

友達に『さようなら』と云ふ時には
其れが假令一夜の別れであらうとも――
友の手を自分の手にしつかり握れ。
明日にならぬ内に運命の手が
自分達にどう　動くか、
誰れにも解らないのではないか？……
人は別れる運命を持つて居る。
お互が又會つて喜ぶ前に
日が月となり、月が歳になつて行く。
何んといつても別れる事はつらく
涙が出て、頭の下るものだ。
遠く行かない内に
お互に長い間別れない内に
お互に死なない内に、だから
行き去る人の手をしつかり握らう
眼に見えず、運命が
其の人と共に附き纏つて行くのだから。
つまらない話をする間に
眞面目な話を常にする樣に心懸けぬと
これから先き、夜も晝も
悔恨があなたと一所に歩く樣になる。

私共は朝出かける時には、其の夜の來ぬ間に何んな不幸や、災難が自分の身に振りかゝつて來るか決して知る事が出來ない。

これを讀みましてほんとにそうだと強く感じました近くは和ちやんにいつた『涼しくなつたら』と別れたのが永遠の別れに……

これは二三年前、故郷を立つ際、父に『さようなら』と汽車の人となつたのが永遠のわかれになつた。こんな實例は他にいくらもある事を見ます。

どうぞこの出來事によつて一增に一家の皆様が人世のはかなき事をさとり得られますやうに……どうか心に淋しみをおぼへてゐられる愛姉の上になぐさめとちからをお與へ下さいます樣に人間を最も愛したまふ天父にお願ひいたしますどうぞ〳〵御身體を御大切に心の愛は肉をけづり心のよろこびは肉を增すものでありますどうぞ〳〵大切に　かしこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正六年二月號より

……和ちんの頁……

小供の雜誌

○お父さんが男になつて來た

お父さんが散髮して歸つて來たら、和ちやんは、「お父さんが男になつて來た」と云ひました、お父さんはビツクリしてなぜと云ひますと、「だつて髮がなくなつたぢやないか」

○山羊が豆まいたよ

お正月に和ちやんは山羊が見たいと云つて、山羊の飼つてあるおうちへつれて行つて貰ひました、折よく山羊の大便する所を見て來ました。歸つてから姉さんに、「山羊が今日豆まいたよ」

○誰れてもアンタ

お母さんが和ちやんの赤ん坊の時から「アンタ」と云ひますので、和ちやんは自分の名を「アンタ」「アンタ」「アンタ」と云つて居ます。お母んが又赤ん坊や姉さん達をも「アンタ」と云ふのを聞いて目を丸くして、「誰れでもアンタか」と叫びました。

○人

お友達のおとなりのお孃さんは「僕」と云つて女の癖にと笑はれてから、ちや「人」！と云つてそれから、自分の事を「人人」と云つてゐられます。

○郵便のやうに入れとくていゝ

お姉さんの眞似をしてお金を貯めると云ひ出した和ちやんは、貯金箱を出さうとしても出せないので「ちやいゝ郵便のやうに入れとくでいいでしやう」と云ひます。どうするのかと見ますと簞笥の引出しの細めに明いた中へ入れるのでした。

○アンタのお金返して

和ちやんはやはりお姉さんが、自分のお金で自由に買つて來るのが羨やましくて、アンタも自分のお金で買ふと云つて一錢持つて行きましたが、一錢ではかへなかつたのでお母さんが五錢取替へてお菓子を買つて和ちやんの一錢を財布に入れました、歸つてから「母さんアンタのお金返して――」と云ひました。

○アンタの交番建てるから

いけないれ、いやな人だれとお母さんが云ひますと、和ちやんはすぐ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『誰の事云つてるの、誰がいけないの』さ聞いて姉さんでも兄さんでも惡い人を打ちに行きますので、和ちやんはうち中でのおまはりさんだと云ふ事になつてゐます　或日の朝『ソラ又おまはりさんが行くよ』とお父さんが云ひましたら、言下に『いゝはアンタの交番たてるから椽の下の繩を持つて行く』と云ひました、田舍の子ならば小屋か二階の繩とでも云ふ所ですが東京では椽の下に炭俵の繩があるからでしやう。

試みに、私の内の二男、和(六歳)の云ふことの中で、可笑しいのを二三誌して見ました。皆樣のお宅の坊ちやん、孃ちやんの云ひなさることの中、奇拔なのを御投書下さりませんでしよっか。御投書によつて今後本誌に、毎號一二頁づゝ小供の頁が出來ましたらさ、念願して居ます。繪本繪ハガキ等を進呈いたします。(西川文子)

○赤ちやん生いきね

仁ンコの姿やが、新聞紙を襟にあてゝ負んぶしました、和ちやんはたらひの中で日向ぼつこしてゐて、赤ちやん生意氣ね新聞讀んだりして。

大正四年に赤ん坊趣味をかきましたのも和ちやんの赤ん坊の時でした。其の和ちやんと本誌とは因緣深い多くの思い出があります。

大正六年三月より

○お芋の煮えたを存じない

和チヤンが火鉢をつゝいてゐるさ、お芋の燒けたのが出て來た、當意即妙『お芋の煮えたもお存じない』と火箸に拔き差した。

○こんな所が玄關

雪や雨が降つてよごれた下駄を澤山洗つて、奥椽下に干してありました、和チヤン『こんな所が玄關。』

○これは不味いよ

兄チヤンが和チヤンのお菓子を頂戴と云ふと『これ不味いよ。』

○トウ〱イツタ〱

和チヤンは元來自分の都合のよい哲學をつくる人で、まだ三ツの頃婆やが鬼が來た〱さおどかすと『トウ〱イツタ〱』を云ひつゞけました。

○手が無うても死なない

白(犬)がビッコひいてゐると、『どうして手がなうても死なない。』

○ヤレ〱ビッコ

和チヤンは道で松葉杖をついた人を見ると、『ヤレ〱ビッコ〱』と眼を丸くして云ふので氣の毒な思をします、これは中西屋のお伽噺話に兎のがある、その中に『ウササン電車に引かれたかヤレ〱ビッコは氣の毒な』と云ふのがある、それを暗記してゐてゞす。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

弔詞の中から

▲前田貞次郎様より　拝啓御二男和様を亡はれて御同情に堪へず小生も先般廿二歳に相成候次男を喪ひ候事とて殊に御胸中御察申上候

どうしてもしたらの親の歎き哉

此十七字詩只今思浮べ不取敢打電仕候別封聊か乍ら御本人生前お好きの物を御供へ可被下候ホンの微意を表する迄に候目下哀悼紀念印刷中に候へば追て入御覧可申候頓首

其後前田様より「哀悼記念しひしば」一冊御送付を受けました。書中の二三行を左に

△あゝ忘れぬは、大正十年九月二日といふ日、その日ばかりは、時計の針も、ゆきし子のいのちを刻む様であつた。彼が身にくひ入つた不治の病は、遂にいのちに迄も食ひ入つて、主治醫天野良太郎氏の治療、兩親や兄や弟妹の看護等かず〳〵の心盡しも、其甲斐なく、人間に知られぬ神秘の約束は、午後十時半といふ刻限を正に此世の終りとして、死の神は彼を幽冥に連れ去つた。わが二男として、明治三十三年三月廿九日に生を享けた彼は、病床に臥すること丁度三十日、かぞへどしの二十二歳を一期として、世に亡き數に入つたのである。△わが子を喪うて、また今更切に憶ひ起されたのは、わが亡きちゝはゝの事である。父は私が十一歳の時に、世を去つたのであるが、おとうさんと云ふ姿やが、小學校へ來て「ちよつとお歸り」と言つた其の時の聲は、まだ私の耳の底にのこつてゐる、私が歸つた時は、長く肝臓病で患つてゐた父はモウこと切れて、冷めたくなつてゐた。△おもへば曾て十六歳の娘を亡くし、今又二十二歳の息子を亡くしたのだ……

▲小畑源之助様より　御次男御不幸の事唯今道話にて拜承驚入候小生近き經驗有之一入御同情申上候拙兒亡和子の遺稿御送の事失念致居御悔みの序に差出候奥様へも宜敷願上候

小畑和子様は二十歳を一期として、本年三月一日に此の世を去られたのでした。其の紀念に出版された「み空の花」の中「御なつかしい戀しい母上様に病める子より」とある文章の一部を左に

いつも〳〵御飯を持てきて頂く時も　後すがたを見ては一人泣いて居ります　昨日でもお藥を呑まして頂けばあゝこんなにもして下さるかのをと　私は有がたいやら　かなしいやらですぐ涙が出ます　晩にも御やすみと申しました時にをやすみよ　といふて下さる聲をきいては　私はなつかしくて又泣かれます　千秋ちやんや秀ちやんの聲だけ聞いて早く一しよに遊び度いと又しても泣かれてなりません　庭先で遊んで居る時もあゝ二人ともかはいゝのに私はどうして抱てやることも出來ないのかと思つてはもう姿さへかなしくて見る事が出來ません　御父さんもつかれた體で會社から歸つてすぐに色々御世話して下さいますのが　うれしくありがたうございます　一人になりますとあれこれと思はれましてなつかしいやらありがたいやら私は一人で泣いて居ります　決して〳〵此御恩は死んでも忘れません　どうぞ何事も思はずに御體を御大事にして下さいませ　病氣になつた私は　もうしかたがありませんけれど　どうぞくれ〳〵も氣をつかはないで御身を御大切にして下さいませ　御父さまにもそうおつしやつて下さいませ

長い間臺所も見ませんお風呂場も見ません　いつになつたら見られませう　御父さん　御母さん　磯さん　千秋ちやん　秀ちやんのそばで御飯がたべられませう

いくら書いてもつくせません　サヨウナラ

▲梅田あき子様より　悲敷い御通知驚參心地に拜見いたし候何とも御痛ましき限りにて候先生御兩人樣の御心中を些少なりとも存じ居る私には只御一諸に泣くより外かの御慰みの詞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も御座無く候あゝあの御別れは一生の別れにて候ひしかぢつと黒目がちの大目で悲しそうに見送り被下し森の御別れは永久の御別にてありしがさく年の冬にもフイルムやおもちやを見せて被下ては御可愛らしい御話を御きかせ被下しあの大好なりし御坊様思へば思ふ程悲しくて残念でいたし方も之無く他人の者さへかうなしき方と思ひ出るなまして……

▲宮武はる様より　御次男様をおうしない遊ばしたとは何と御かなしいお知らせでしよう。十年の昔やはり次男を三歳にしてなく致せし心のいたみ持ち居た私にはあの子ぼんのうで居らつしやる貴女様のいかにお心苦るしう渡らせられんと人様の御事とは存じられず空をとんでもまゐり及ばずながら御慰め申上げんとは存じながら、何やかくと團體寮の忙がしさにそれもかなはずして不本意ながら代理差し出し申候悪しからず御ゆるし被下度、どなた様が何さ仰せられても耳に入らずかなしみのそこにしづみし、かつての私の思ひより御悔みの言葉も申知らず候も、其お子が一人の親様でない、ほかのお子のため御大切なるお身體だと、充分お氣を引立てられたまふ様願がはしう候。

▲佐竹兵吉様より　謹啓御次男和様永眠いたされ候由変々御伺申上候折、御目にかゝりたるあの愛らしきお子さんが逝かれたとは何たる痛ましき御事と存候。私方も二人迄失いし悲しき經驗を味はひ居候事とて一層御両親様の御胸中の程御察し申候。

▲三田操様より　御令息和様お手厚き御看護も其効なく遂いに幽命界の神さ相成られ候さの御事實に驚愕先生始め皆様の御愁傷御落膽さこそと御推察申候て轉た人命のはかなきに断腸の想堪へ難き次第に御座候噫先生始め皆々様のエターナルな愛の的にあらせられ候ひし和様は今は何處にや安らかに眠られますやうお祈り申次第に候

▲小出つる様より　巻紙と筆さによらればすまないと存じながらペンのはしりがきになつてしまひましたどうぞ御ゆるし下さいませ、ひと一倍子供のすきな私はお子様の御大患ゝ承つてどうぞ悲しい此のおはしまさぬ様に　御いのり申してをりましたがとう／＼かあちやんのお膝を後におなくなり遊ばされたさうでお氣の毒に存じますほんとうに何と申してよいやらしみ／＼御いたはしう存じます『弱り行く兒に』をよまして頂いて胸が一ぱいになりました親御様の御身にとつてこれほどつらいこれほど悲しい事が世にありませうぞ、一日／＼と思出の御涙のつきせぬかと御同情にたえません掌中の玉を假におなくしなされたかあ様の御心を思ふと悲しくなりますそしてまたお逝きなされたお坊ちやんがおかはいさうでなりませんいたいけざかりのお年頃を病魔とたゝかつてお床にじつとゝれしていらつしやるさへやうゐの御辛抱ではなかつたでせうにどんなにお苦しかつゝでせうに遂に、かあさんや父さんのおそばを永久におはなれあそばしておねむりなすつたかと思ふさおいとしさにまだお眼にかゝつたこともない他人の私でも泣けてきます私は今更死の嚴肅と人生の無常を感ぜずにはゐられません。

▲碧川かた子様より　早速御悔みに參上致度候處七日より病氣就床に付歩行さへ出來ず候いしがようやく此間より大によく相成候へどは未だ全快致さず二三日あとあるじの兄急病にて永眠致候もその葬儀にも參らずすぐる次第にて御無禮さへ出來かねざんねんに候。

▲吉川民子様より　私も一昨年も昨年も年頃の娘と悴をなくし實に断腸の思ひ居候何事も宿生の因果天命とあきらめるよりいたし方なく候へども一生涯つきまとふ悲しみに存候其内御悔みに參上致可候

▲深見陽様より　今朝御悲報に接し驚き悲しみながらいつか頂いてある御寫眞を取出して無邪氣な御姿を拜し御靈を御慰め申し上げまし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た平素涙もろき私のことゝて熱き涙は止め度もなく頬を傳はりました。

▲松宮春一郎様より　子を喪った時の親の心は筆にも紙にも盡し難いものであることは私も四たび經驗を致して居りますのでしみ〴〵と御同情いたします。

▲高島圓様より　御葬儀の當日は千葉へ講演に來る先約有之御見送りも致しかね候事遺憾千萬に候これより内佛に於て燒香拜弔の微意を表すべく候。拙者「遺封經講話」一部この際特に拜呈仕候。

▲與附野寛、昌子様より　啓上平素御疎音に打過ぎ恐入候。只今お葉書に接してお兒様の御長逝を承知致し候。お二人様の御心中を御想像申上げ、親ごころの共通する愛情を語り合ひて、御悲痛のほど如何ばかりぞと存じ上げ候。

▲野口復堂様より　小供を亡くせし經驗多き拙者御同情は普通人より數倍と存じ候理屈は平素こんな時には暗涙より外無之候。

▲長谷川やす子様より　早速相伺ひ致して御悔申上ぐ可きはづのところ長々銚子えまゐり居り歸宅後かれこれといまだ身體も充分ならず候まことに失禮ながら使にて御悔申上候あしからず。

▲堀部久太郎様より　あきらめ難き深刻なる經驗を有する私共夫婦より新たなる御兩所様の悲愁深き御同情を表し謹で御悔申上候。

▲沼田久野様より　世の悲しきことも數々候へ共愛子を先立候親心より切なきものは無之候は私しとて三年前長女を十八才にて失ひ日夜忘るゝひまとて候はず覺えある身の一入御同情にたへず候。

▲志知あつ様より　御見舞の御手紙もやう差し上げず、ほんとに濟まない事と存じますどうしてあんな達者な方がこんな重い病氣に御なりになつたのでせう、こんなに早く御なくなりにならふとは夢にも思ひませんでした、もつと大きくなつて偉い人に御成りになるであらうと思つて居りましたのに、惜しい事で御座いました。あんなに人なつこい可愛い方はございませんでしたのに。どうしても引とめる事の出來ない人の力を頼りないものと深く感じました。叔母様どうぞ御氣を御落し遊ばさないで下さいませ。

▲志知さと様より　和ちやんやはりだめでしたか、御氣の毒な事です、ながく一生けんめいに介抱なすつたでしようにやはりそれだけの御約束なのでしよう、子に別れるのは親に別れるよりもつらいといふ事をきいて居ますがまだ一度もそのやうな悲しみを味た事がない私はどんなに御つらいでおらうかと想像して居ります。世間によくそういふ悲ひ事ある氣な見きゝしますしたくさんにありましようが今度は全く切實に感じます何だか自分の子をとられたやうないいしれぬさびしさを感じますのにまして朝夕むつまじく暮された兄姉たちは定めてさびしがつておいでゝしよう事毎におもひ出しては泣ておいでゝしよう。どうかこの上は再びそういふ事のないやうに皆さんの御からだを一層大事にして下さい。

▲高村久之助様より　先般御親切なる御弔詞に接したる御令息の御病氣の趣承知致し候爲め御禮を兼れ御見舞狀差上げんと存じ實は一二度筆を取り候へ共いつも亡兒に對する感想の一節に至りては萬感胸に迫まり來て筆動かず候まゝ其儘に致し置候爲め遂には生前御見舞も申上げず誠に申譯無之候。げには生兒を亡ふ程悲哀の切なるもの無之と存候乍去小生は今日にては亡兒に對し只形骸を失いたるも彼の靈は今尚ほ存在するものと信じ彼を思ひ彼を愛し居候。

▲谷井圭子様より　私事此のほど女子出産いたし四五日めより勝ないためた爲熱發いたしおもはぬ苦を見やう〳〵本日平温になりしな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

幸ひ始めて箠をとりし次第にて延引ながらとりあへず御悔迄申上候。

▲西端學様より　拜啓去二十一日御次男和様御死去の御知らせを受けました時は恰も胃痛の最中にて御悔み狀も差上げず失禮致しました私も二、女を四才にて死去致させたる事がありますから深く御愁傷の御事を察しあげます殊に奥様の御心中は愚婆の當時に於ける有様さ合せ考へ御同情申上げます安達原の上瑠璃中に子を持て知る親の恩とありますけれども我等下根の凡夫は子を死なして始めて知る親の恩と云ふ方であると常に考へて居ります何卒奥様へ宜しく願上候

▲山田愛子様より　生後百餘日が生涯であつた赤ん坊でさへ母としての私には次から次へと呼び起す限りない思ひ出がありますのにまして八歳の可愛らしざかりのお子様朝夕起居を共になすつた皆様にはどんなにかいとしとも可愛らしい御思ひ出多くゐらつしやることで御座いませう十一月の『和ちやん號』は悲しい期待を持つて御迎へいたしたう存じます。

▲小口みち子様より　先日は令息さま折角のお心づくしの甲斐もなく御逝去なさいまして御知らせを頂きまして本當に人の上の事とはおもはれませんでした。

丁度御同様に妙な恰好の體をくらべたりしたあの紀念のお子さんである事が私に取つてはよけいに思ひ出の種となるのですあいお子さんのお出來になつた頃はお互ひに可なり元氣もあつたり無鐵砲でもあつたり又面白くもあつたりした事をいろ〳〵と私はおもひ出しました。

子供を死なした心もちと云ふ事については私は思つてもぞつさする經驗をもつて居ります親としての一番苦痛な事と私は思つて居りますあなたはそうした不幸な目におあひにならないて一生をお通しになる幸運な身とのみ思ひつめて居りましたがそうでなかつた事がお悼はしくおもひますが同じうれいの道を歩む人としてあなかを見つけた事を私は一しほ心丈夫に且つおなつかしく一度お目にかゝつてしみ〳〵とお悔み申上たいと存じて居りましたが丁度お葬式の日は餘義なき先約がありまして自分で上りかれ失禮をいたしました。

▲森山精子様より　本年の三月十三日矢張り上野山下で禁酒宣傳を致しました其の日御目にかゝりましたのが始めてゞあり又終りで御座いました。御話ししてようおはなししてようと仰せがみなさる様等は未だに新らしい記憶で御座います。あの可愛らしい御子様、御丈夫そうであつた御子様が此の度怪うしたびになられ様とはほんとに何誰も思ひも依らないことで御座いましたでせう。何んさ云ふ悲しいことで御座いませう。なんさ云ふいたましい事で御座いませう。

おゝ小さきみ靈よ!!今は何處に……何んの信仰も持たぬ私は限りなき生命を與へられると云ふ事がまたなく悲しう思はれてなりませぬ。唯々安らかに眠れ!!いと安らかに!!

さこしへに覺めずに――と心から御祈り申上げます。

▲須藤鐘一様より　御令息さま御不幸の赴き拜承いたし驚きました。かれて自然療法にておきたいの事とて定めし御じやうぶであらうとばかり存じてゐましたのに、矢張り命數といふものは人力の如何ともする事の出來ぬものと見えますれ。

▲但村はつ子様より　かれて御病氣の由御作の上にても拜見致し居候御令息には御永眠の由御心のほど申もおろかと存候、先年九死の境に見のおちし時の事を思ひ八月號御作のとり〳〵共鳴致候中にも『母の苦界』には特に深く感動致候かつは九月號にも。悲しみのつきぬを幾重にも〳〵御うたひ被下度候愁の深さ味ひ味ひすることに愁の中の喜びと存候、時をわきまへぬ冷き言葉とも思し召され候半といと心痛ま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れ候へども今は永遠の幼兒として御胸にのこり玉へる御子のため御母の一篇の御作は百個の供養にもまさり候たえぬいのりの御心もての御作またれ申候御介抱の御つかれなど如何に候や御多忙の御身さぞと存候今年秋に入り雨多く御地は如何不存候へ共古都の秋思にたへぬもの有之候此時御訃を承り一入に存候拙きものながら同封の句御供へ申上候　かしこ

▲中島誠子様より　扨今回御惠送下されし御誌十月號にて承知致し候處御次男和様には九月十九日かあちやん／＼と御したひなされつゝも午前十時には御佛の御國に入らせられしとか世のならひとは申ながら思ひもかけぬこのさかさまごとに御逢ひ遊しあなた様さぞや御力落しの御事ならむと同情申上候謹て御悔み申上候和様もさぞ一人では淋しく思はれて御旅立ちも御いやなりしなるべし御母さまの御前様も一人では旅立たせ度なかりしなるべしなどそれからそれへと考へさせられ申候御病氣は腹膜炎なりし由随分御つらかりしなるべし折角／＼御両親の御骨折の御看護に御本人もどんなにか報いたかりしなるべしさりながら文子様和様はもう此の世からはなれて今頃は美しい御國に何の苦もなくて却て御互の執着をあはれみつゝ救いの手をまはして居らるゝことゝ私は信じ居候さすれば和様は世の無情を切に知らしむる爲の菩薩様なりしことを思ひ何卒和様に深き感謝を御さゝげ下され度云々

御禮まで

亡兒和の葬儀に、御會葬下されし方々、御慰問下されし方々、並に御香典を玉はりし御方々の尊名を左に録して、永遠に感謝致したいと存じます。

岡千代彦氏、山崎今朝彌氏、中澤貞助氏、松崎貞一氏、穴山篤太郎氏、天野敬一氏、宮下庄太郎氏、村田兵六郎氏、古谷榮一氏、濱田智三氏、原胤昭氏、小口みち子氏、毛利壽太氏大岡顯三氏、今村量緻氏、黒澤長八郎氏、中澤次郎氏、野間清治氏、海野澤氏、末廣利喜助氏、同歌文氏、早川桂太郎氏、同幸登子氏志知要藏氏、西鄕又男氏、鷲尾義直氏、福田市太郎氏、佐藤驗氏、楠久接氏、尼子松代氏高木嶺南氏、同ふよ子氏　岩見次三氏、小幡新吉氏、篠田せい子氏、稲垣藤兵衛氏、石田友治氏、宮武晴子氏、佐野六三郎氏、森山榮子氏、久保晴信氏、安田長吉氏、渥美勝氏、松葉榮氏、別役萬愛氏、熊谷珍平氏、久島大輔氏、名生昌氏、樋口傳氏、峠村當治氏、田中王堂氏、同幸子氏、江木榮子氏、金山佐次氏吉田清太郎氏、島中雄作氏、坂本健一氏、増田小松氏、福良浩一氏、石川勝藏氏、篠原源次郎氏、宮地又太郎氏、服部平六氏、金澤誠藏氏、宮武能孝氏、山崎久吉氏、山崎豊氏、山崎關擧氏、御代川氏、三宅狷去氏、志知善大氏、同さと子氏、伊藤證信氏、樋口絲子氏、宮地友次郎氏、綾部康雄氏、青木賢次郎氏、石田善一郎氏、野口復堂氏、與謝野寛氏、同晶子氏、高島平三郎氏、村瀬みち子氏、關倉三郎氏、藤川惠吉氏、小木竹捨男氏、堀部久太郎氏、沼田久野氏、碧川かた子氏、長谷川やす子氏鴨氏會東京支部、深見陽氏、中里介山氏、鈴木透氏、本庄楠氏、佐竹兵吉氏、大脇直壽氏、橋昌三郎氏・梅田あき子氏、中沖清子氏、安田榮一氏、彦根育太郎氏、西川佐十郎　、仲野儀太郎氏、高村久之助氏、南かほる氏、[illegible]貞三氏、小池榮康氏、濱田淳平氏、都志兵太氏　同濟之氏、佐田豐山氏、前田貞次郎氏、三宅武郎氏、吉谷俊次氏、唐澤純正氏、武居俵十郎氏、松本義之助氏、山田太熊氏、立石銀一氏、吉田庄七氏、長倉孝一氏、横山幸次郎氏、蠣崎知次郎氏、梅田あき子氏、野中　氏、渡邊さし子氏、高信威木氏、安田榮一氏、大和田廣壽氏、能勢浩然氏、中島善太郎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

谷井圭子氏、小原愼三氏、阪本正雄氏、蔵内正太郎氏、川島政兵衛氏、平山岩太郎氏、日笛原繁氏、三浦樂堂氏、松宮春一郎氏、高島圓氏、村松民太郎氏、野原ます子氏、黒澤長八郎氏、吉岡彌生氏、隠明寺丞氏、木部愛子氏、小出つる氏、三田操氏、佐竹兵吉氏、三巻とみ氏、福島四郎氏、羽仁もと子氏、畑原常次郎氏、但村はつ子氏、堀三四三氏、武安宿典氏、棚谷誠氏、田中治五平氏、中島誠子氏、中山泰昌氏

最後に和ちやんの病氣を殊の外御心にかけさせられ御見舞下されし方々に深謝します。

村瀬みち子氏、志知善友代、志知さと子氏、早川幸登子氏、高木富代子氏、中神濟子氏、伊藤朔子氏、住山富久子氏、金澤はま子氏、服部みれ子氏、宮武濟子氏

かりそめの病氣と思ふ頃でも何となく虫が知らせましたか他の小供達に今度和ちやんの病氣が治つたら精養軒で大々的に全快祝をしやう、せめて彼れの誕生日である十二月二日迄に少しでもよい目が見えればと云つてゐましたのに。

△私は今も尚ほ皆樣の心からのお悔狀を拜見しては泣いて居ります。普通の手紙とちがひ、これ位名文は厶いません。殊に御經驗ある方々のは一と際で厶います。私同樣皆樣にもお慰藉になる事と存じます。どうぞ、御經驗ある方々は私のみでなく皆樣にあてゝのものと、お互に思ふばかりでまだ御返事もやうさしあげないで居りますが、云はぬは云ふに勝る百倍で厶います。どんなに感謝して居るか分りません。どうぞ御汲み取り下さいませ。

△なほ悔狀を澤山頂きましたが編輯〆切後になりました方や其他洩れきました方々も多くありますす深く御詫びいたします。

子を亡ひて

吾子病みて化粧せずなり吾子逝いて十年老いぬる我心かな
ともすればふらつき易き我心子を亡ひて迷はずなりぬ
食事する度に亡き子を思ふ哉子は初ものゝすきな子なりし
快くならばあれもこれもと約せしを供へても／＼何のいらへなし
夜毎々々體溫器もて子等の床廻ぐり／＼て安堵するわれ
ありとてもよき事のみにあらなくによき事のみの思出悲し
逝くならばあしき事のみきざみおけせめて嘆きの薄からましを

新眞婦人定價表（十一月一日發）

一冊（郵稅共）	貳拾錢
半年分（郵稅共前金）	壹圓廿錢
一年分（郵稅共前金）	貳圓四拾錢

◉新眞婦人廣告料　特別面五十圓、一等卅五圓、二等三十圓、普通面廿五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正十年十月廿八日印刷納本
大正十年十一月一日發行

本鄕區駒込動坂町三二七番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

下谷區入谷町三百九十六番地
印刷所　博眞堂

東京市本鄕區駒込動坂町三二七
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京　二四五五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光次郎先生著

増補 最新健康法全書

四六版箱入
定價金二圓
送料十錢

現代に於て最も顯著なる功果を示しつゝある代表的健康法のすべてを網羅しその方法と實驗とを詳叙したるものにして人體改造の根本經典たり

▲空氣浴療法
▲日光浴療法
▲電光浴療法
▲乾浴長生法
▲果食健康法
▲息心調和法
▲白熱光浴療法
▲岡田式靜坐法
▲川合式強健術
▲患部壓迫療法
▲ラヂウム療法
▲心理熱湯療法
▲水治療法
▲一日二食
▲禊の功能
▲灸治療法
▲心理療法
▲自然療法
▲葛岡式運動治療法
▲小森式塗擦治療法
▲高野式抵抗養生法
▲井上式筋骨矯正術
▲二木式腹式呼吸法
▲其他數種

西川光次郎先生著
萬病根治 **自然療法**
定價一圓 送料八錢

醫學博士竹[illegible]次郎先生著
最新肺病治療法
定價一圓 送料八錢

伊藤尚賢先生著
健康法辭典
定價二圓五十錢 送料十二錢

高島米峰先生編
來世の有無
定價七十錢 送料八錢

東京小石川區原町 振東京一五六八六 丙午出版社

東京小石川區原町 振替東京一三五三 鷄聲堂

子宮病血の道

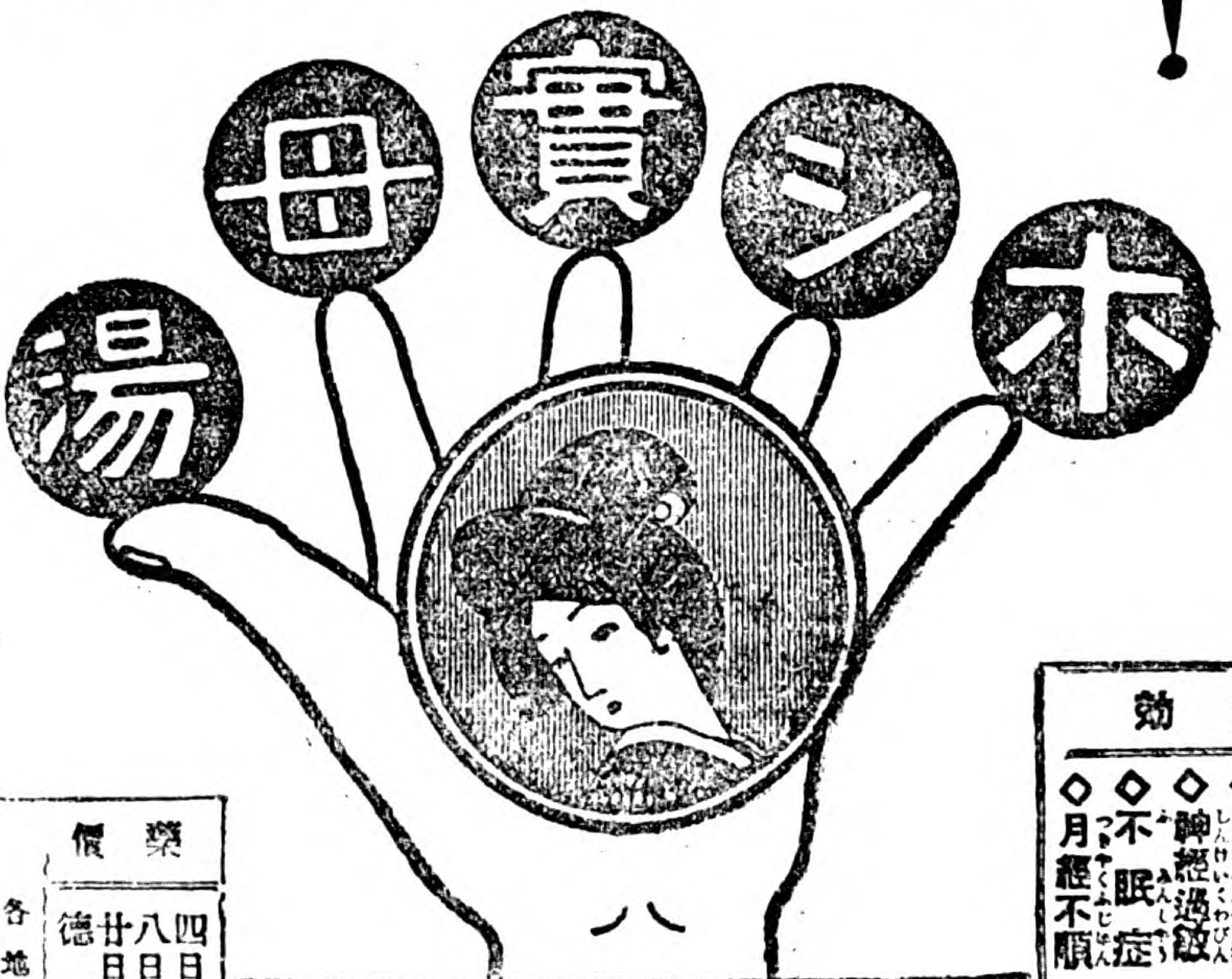
全く理想的！

錠劑の婦人藥

お湯に良く溶け

キ、メ振出しに優る

從來の煎じ藥や振り出しの婦人藥は使用の際に非常な手數が掛りました。殊に一度用ひたものを、殘存つて置いて二度三度用ふるのですから、其都度成分が違ひ、自然濃淡の差が出來るのみならず、塵埃などが這いつて衛生上にも勿論よくありません。本品は本社の工場に於て多くの醫學者が研究の結果純質した理想的婦人藥で、從來の婦人藥の手數や缺點を根本的に改良したものです。其品質はあらゆる婦人藥の有効なる主成分を集め、新たに二三の新藥劑を加へて之を錠劑にしたもので、用ひ方はこれを二三錠茶碗に入れ熱湯を注ぎ込むと忽ち溶解してよい香を放ち其効能は婦人藥の主成分のみを集めたものですから從來の煎藥より遙に卓越して居ります。



主効

◇ヒステリー ◇子宮病
◇神經衰弱 ◇白帯下
◇神經過敏 ◇膣カタル
◇不眠症 ◇頭痛冷性
◇月經不順 ◇貧血病等

藥價	
四日分	卅錢
八日分	五十錢
廿日分	壹圓
德用	貳圓

各地特約藥店にあり

東京京橋南傳馬町三丁目

星製藥株式會社

電話京橋一七八五　振替東京二〇五二二

皮膚科
泌尿器科 腎、膀胱、尿道、睾丸、攝護腺の疾患
生殖器科 男女生殖機能障害
婦人科
梅毒科
特設ジアテルミー科

日本橋區通二丁目
白木屋出口前

中島醫院

電話本局三九八〇番

院長 ドクトル メヂチーネ 中島鎌太郎

産婦人科 小兒科

院長 吉岡彌生
副院長 吉岡房子

診察 毎日 宅診午前 往診午後

産室及病室の設備あり
隨意入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話九段（三三一番）（三三三〇番）

自午前九時至三時迄縦覧隨意

生徒募集 和洋服裁縫及刺繍 ミシン専修

（規則進呈）

麹町區有樂町一ノ五

シンガー裁縫院

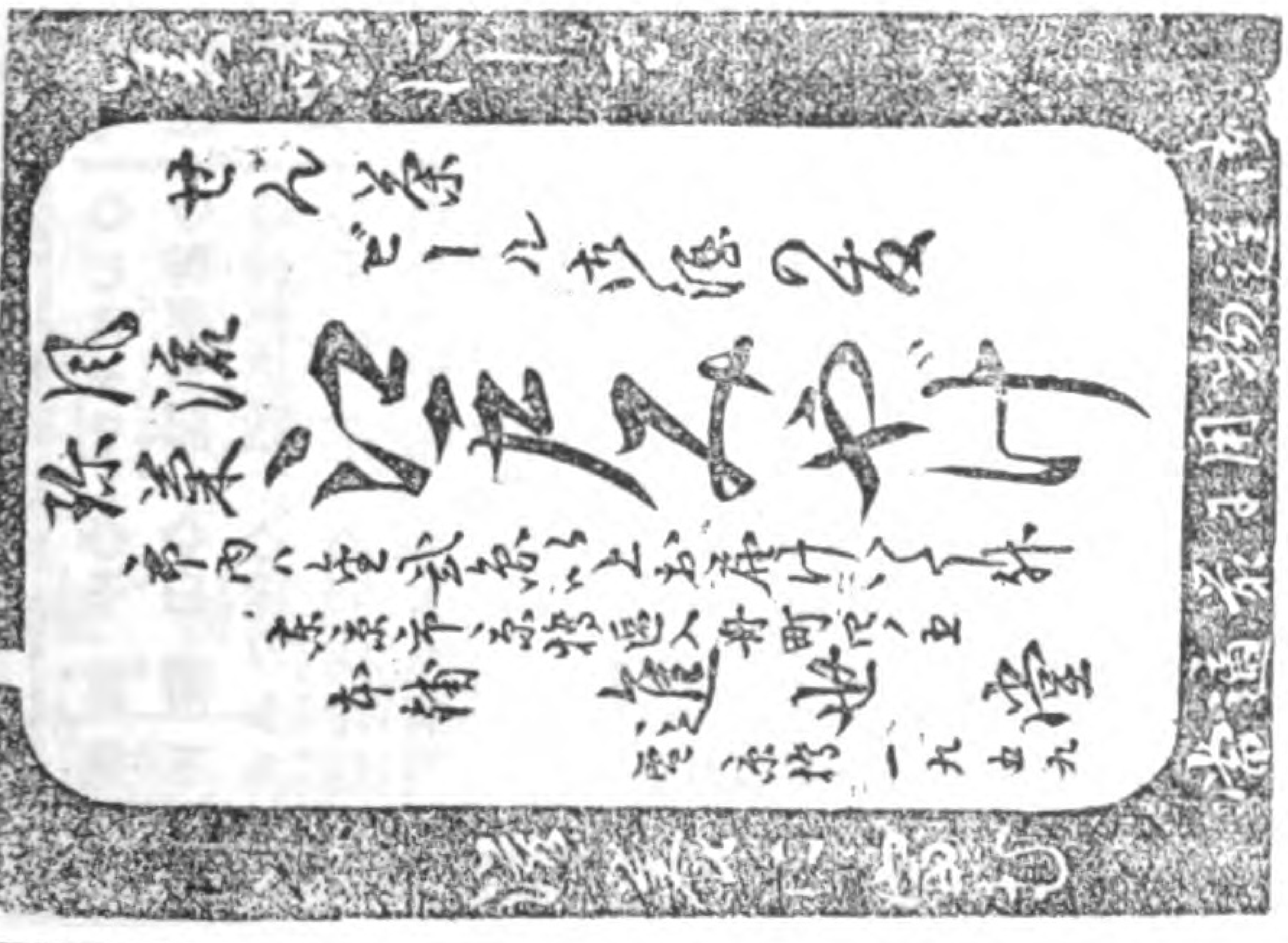
電話本局 四三一一 五二六九

岡埜榮泉

旅行は上野のステーションから
お菓子は岡埜の榮泉から
お土産にも御茶菓子にも

電話下谷一九五二番

下谷區（岡埜）上野驛前



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理容館冬の化粧料

冬の特製ライック水　涼しき綠色、化粧水の玉　.80
冬の御顔用白粉　立派な氣高き化粧料と　.70
冬の御襟用水白粉　生彩なる眞美さなる爲に　.70
冬の綠色水白粉　淡白で自然美を出す爲に　.80
冬の御顔用石鹸　髭剃ともお顔たけはこれで　.90
冬のキユーリ製植物液　化粧水は純植物液が第一　.90
冬のマサージ用クリーム　脂肪が根本より取れ升　1.00
冬のハイジエニッククリーム　化粧下荒れ止として無類　.90

皆一、二、遠藤波津子先生實驗證明濟みです。

宮家御用品

地方は一品たりとも送ります(定價表差上ます)

冬の御化粧と着付けには　斯會獨步の遠藤先生化粧所へ……

晴の御婚禮化粧仕度　御一生の大禮、いやが上にもお美しく……

東京新橋竹川町十二
(電車出雲町竹川町)
理容館
電話銀座一、一〇〇
振替東京一四、一二七

にきびをとり●ひぜん、たむし、いんきんなどの皮膚病を治し●傳染病の豫防に效力あり●あらゆる消毒に用ふれば硼酸石炭酸の代りとなり又化粧用手洗用にも適し重寶此上なきしやぼん也

定價 小 拾錢　大 廿錢　送料 一個 二錢　一打入一函拾八錢

▲目藥のオーソリティー▲

定價 拾錢 廿錢

近來同名の擬藥多し御注意を乞ふ

東京銀座
精錡水本舖
岸田吟香商店
電話京橋 六一五
振替東京 四七八七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

銀座一丁目河岸通
株式會社 永樂銀行

銀座一丁目河岸通
株式會社 帝國貯蓄銀行

一定期預金 六ヶ月以上年五分五厘
一當座預金 百圓ニ付キ日歩 八厘
一特別當座預金 同 日歩一錢二厘

東京市日本橋區阪本町七番地
合資會社 田中銀行
電話浪花(一)九九番(二)四〇〇

三階 二階 階下
大陳列場
御婚禮道具一式調製
東京市京橋區金六町角
鷺塚高等簞笥店
電話京橋 五百七十一番 三千四百五十五番
振替東京 一九三七〇番

商品目録進呈
第一工場
深川區入船町六番地
電話本所五百二十六番

登録商標

八

電話京橋五三四、

あくぬき製

東京銀座松沢

八

賣捌い全國諸々小間物店

振替口座東京七二四

東京市京橋區銀座三松沢製

正味
袋入として

●洗濯石鹼の騰貴驚くに足らず

太陽コナ石鹼半額販賣

壹圓なれば貳圓分

五拾錢なれば壹圓分

廿五錢なれば五拾錢分

神田小川町　天下堂

靑山北町三ノ六　株式會社　柳屋商會

電芝二八八四番
振替東京五二七四

四ッ谷尾張町三番地
四ッ谷見附前横丁　柳屋支店

偽物あり太陽印コナ石鹼に御注意を乞ふ

▼蜜蜂の飼方　北島先生著　金七十四錢
▼兎の飼ひ方　河南學士著　金六十二錢
▼鶏飼の秘訣　白松先生著　金六十二錢

養鶏實地大家　松澤淳水先生著
養鶏十二ヶ月
好評第七版　●金八十錢　送料二錢

▼草花培養法　原田學士著　一圓六十錢
▼花壇草研究　石垣先生著　金八十六錢
▼盆栽の培養　小川先生著　金五十四錢

東京日本橋區傳馬町二丁目十三番　**有隣堂**　振替東京六九六六番　貯金口座

青山腦病院
腦神經精神病
院長　ドクトル・メヂチーネ　齋藤紀一　月水金
醫學士　田澤秀四郎
同　齋藤茂吉
腦神經衰弱　リンヂヤ氏波注射　日水
電話　芝二六六五　芝二六七四　特長二七四五
東京市赤坂區青山南町

リウマチ
神經痛にてあらゆる療法効なくお困りの方は郵券四錢封入申込まれよ不思議に治る薬法を御知らせ致し升
東京市淺草區
井筒屋油店
電話淺草三一五
振替東京一九六五二番

現代的家庭薬
カタノコリ○ウチミ
リウマチス○神經痛に
よくきく各薬店にあり
十錢廿錢五十錢一圓
東京箱嶋町　東京製薬社

產科婦人科 小兒科　宅診午前　往診午後
東京市四谷區三光町
井出醫院
電話番町三六七七番
女醫　井出改メ　竹内茂代

腦病精神病專門
南葛飾郡龜戸、龜戸一一二〇
加命堂腦病院
電話本所二五五二番
院長　奈良林淺次郎

產科婦人科
篠田病院（入院隨意）
本郷區丸山新町
女醫　**篠田せい子**
電話小石川二一九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞の美人たらんと欲する者は

健康を増進せねばならぬ、古來美人として後世迄傳へらるゝクレオパトラにまれ楊貴妃にまれ將又小野小町にまれ皆美しき皮膚と生氣溢るゝ血色美を有して居れに相違ない。

青白い顔に紅や白粉にて巧なる化粧をしても一度顔を洗へば嫌になる故に眞に自覺した美人になるには健康を保全し肉體美を圖らねばならぬ、是をなす最良の方法は常にオキシパサーを使用すればよい、これは決して我田引水の説でなく眞理に叶つた理想的方法であるオキシパサーが治病上偉效のある事は誰もよく知つて居る事だが此方面にも頗る効果がある。

創立十周年記念大擴賣壹組正價金卅八圓

登録商標

オキシパサー

本器は物理療器中の最高權威にして効力の的確なるは夙に識者の認むる所也。使用法簡易且つ失費を要せず、一器を購入せば永遠の使用に耐へ家庭の保健上必須携帶至便の器械也而して克く數十分間の使用後服薬の整調を認めらる。詳細なる説明書、治療實驗例無代進呈治病範圍廣汎なり。頃來類似名稱の模造品あり御注意ありたし

東京市麹町區有樂町一丁目三番地

發賣元　大日本オキシパサー商會

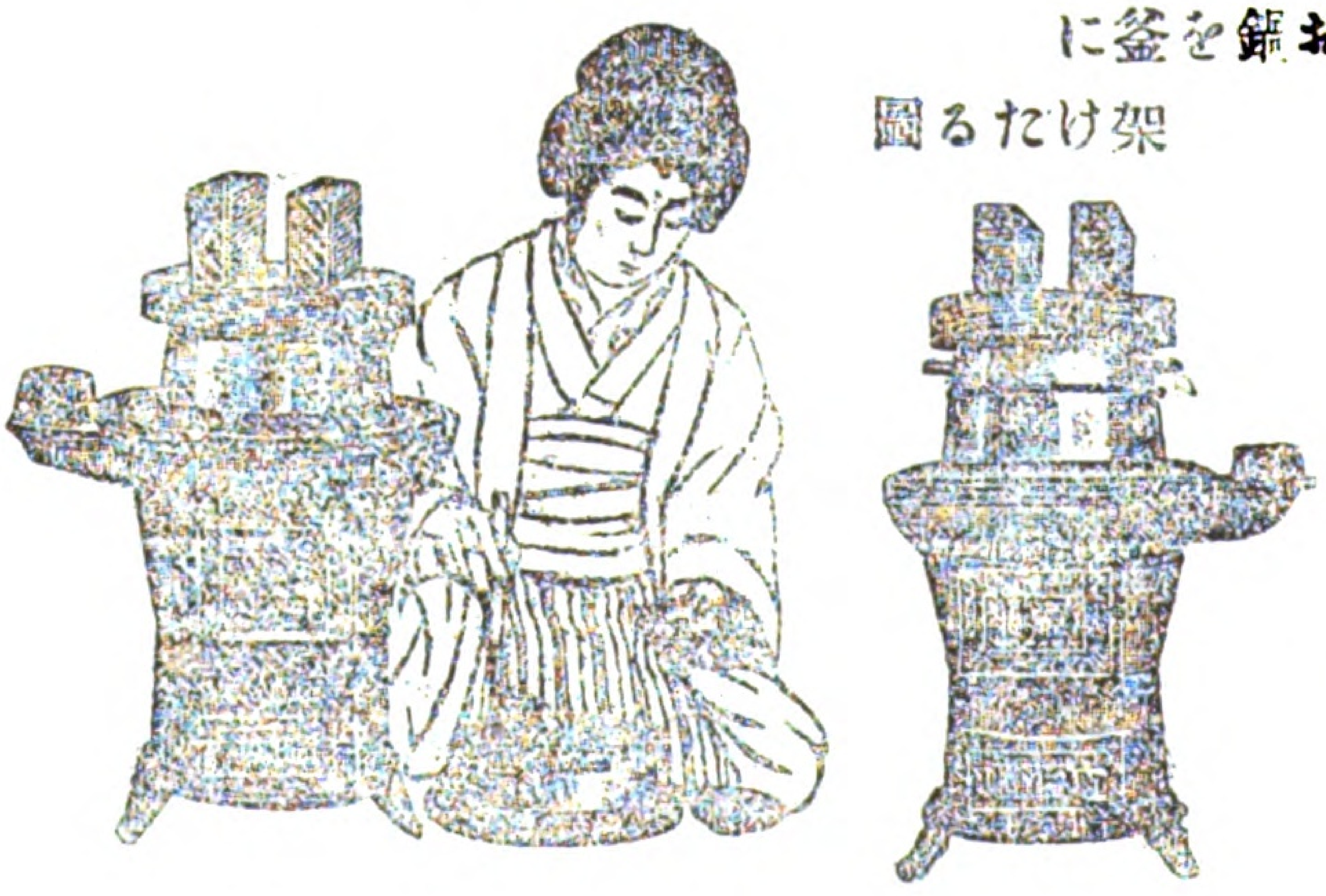
電話丸の内一八九八番振替東京二三八二一番

新案

燃料いらず（富貴蒸煮鍋）徳用無類

△御飯を炊と同時に御惣菜が煮ゑます

お鍋を釜に架けたる圖



（お持ち合せのお釜に合せ本器を御求め下さい）

説明書進呈

東京淺草橋際

阿部彦四郎商店

電話下谷（一九三三）（三三四八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自宅獨習

共立女子職業學校教師 數氏及び大家博士執筆

裁縫書は多いが説明のない裁方を並べた位で縫方は殆んど教へてないから、到底自修用にはならぬ。本會は之を遺憾とし特別の通信教授を案出して、學校にて教授すると同樣詳細丁寧に説明し、自宅に居乍ら高等な裁縫學校に通學同等の學力を充分に授く

（卒業一ケ年）

和洋 裁縫講義錄

月謝僅に三十五錢
三ケ月 一圓
一年 三圓六十錢
毎號百六十頁美本

生徒募集

□和服裁縫科
□洋服裁縫科
□小物及細工物科
□袋物科
■國民道德 ■教育
■裁縫教授法 ■色洗

どなたにも充分解るやう平易に高等裁縫まで教授す
一日おくるれば一日の損
勉强するのにまよふは愚
僅少の月謝一年の修業で東京遊學と同樣の力を得

入學の好機！
■小學文で通學出來ぬ人
■各種女學生の參考書
■特に檢定試驗受驗者
□裁縫教員の好師友教材
卒業證書を授與

内容見本附規則書
郵劵二錢送れ

東京大塚仲町
日本裁縫教育會
電話本局 六〇二四番 四〇三五番
振替東京三三〇七六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高級婦人薬

命の母

此薬にして此キヽメ

婦人病者に再生の歡び

世の中は幾等進歩しても婦人病は昔より今、未来永劫に至る迄婦人病である筈です、従つてそれによくキク薬は必ず何千百年の後迄もキクに極つて居ます「命の母」は實に幾百萬の婦人の難病に對して既往に長き實驗の成績を積み現代に於ては唯一の高級婦人薬として内他共に許す様になりました、今日では數多くの婦人薬がウヨ／＼と出て病人に選擇を迷はす様ですが、「命の母」は實効を基礎として研究に研究を重ね、しかも理想通りの實効を收めて居るのですから此點にして初めて效きめ、メを知り得るのです。

識るのみにて行はざるは何の役にもたゝない事です「命の母」を知れば直ぐ試驗服用をお初めなさい、「命の母」の眞の價値は其實効にあり婦人再生の歡びも其處にあります。

藥價

五十錢 一圓 二圓
三圓 五圓 十圓
各地有名ナル藥店ニテ販賣シテ居マス

主効

子宮病・血の道
ヒステリー・頭痛
脳の病・眩暈・胃腸病
下腹膨張・腰痛
四肢冷感・貧血
白帯下・赤帯下
産前・産後・流産

實驗證明者より順に

福岡縣内野村 今林氏令兒
京都市二條通り 芳場氏愛兒
神戸市元町 丹波氏令兒
福岡縣德寺町 田中氏愛兒
日光町小林石 山形氏愛兒
群馬縣倉志村 小泉氏愛兒

（命の母包装紙圖）

新眞婦人 第百〇二號 大正二年四月二十六日第三種郵便物認可 大正十年十月二十八日印刷納本
大正十年十一月一日發行（毎月一回一日發行） 定價金貳拾錢

復刻版　新真婦人　全6巻
付録1・別冊1
1994年10月31日　発行
本体揃価格　120、000円

発行者　船橋　治
発行所　不二出版
東京都文京区向丘1-2-12
〒113　☎03(3812)4433
印刷所　三進社
製本所　青木製本所
中性紙使用
乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

GEISEL LIBRARY
UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
LA JOLLA, CALIFORNIA

UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
3 1822 02333 1101

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
3 1822 02333 1101

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA